

11/28・29 ご取材のお願い

News Letter

2018年11月20日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
KAiKa 研究所

北海道を代表する「農業」「観光」「食」をテーマにした2つの展示会を開催

『北海道アグリ・フードプロジェクト
イベント&カンファレンス 2018』

『観光・ホテル・外食産業展 HOKKAIDO』

注目は“次世代農業技術”と“インバウンドサービス”

—11月28日(水)・29日(木)、アクセスサッポロで—

一般社団法人 日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、2018年11月28日（水）～29日（木）の2日間、アクセスサッポロ（札幌市白石区）で、“食のバリューチェーン”に関わる全ての製品・サービスが集う専門展示会「北海道アグリ・フードプロジェクト イベント&カンファレンス 2018」と、北海道初となる旅行、宿泊、飲食業関係者を対象とした専門展示会「観光・ホテル・外食産業展 HOKKAIDO」を同時開催します。

本展は、価値創造のために、個人の成長と、組織の活性化と、社会との関係を同時に満たして次世代組織をつくる「KAiKa」運動を提唱している小会が、これまでに培った顧客創造のノウハウを生かして開催するものです。商談や即売、体験を目的とした展示ゾーンには、2展合計で国内外から137社、178ブースが出展し、約10,000人の来場予定者数を見込んでいます。

「北海道アグリ・フードプロジェクト イベント&カンファレンス 2018」の見どころは、「IoT」「クラウド」「ドローン」など、農業の現場が抱える人手不足や低い収益性といった課題を解決する、次世代の農業技術が豊富に紹介されている「スマートアグリゾーン」です。

また、北海道初開催の「観光・ホテル・外食産業展 HOKKAIDO」は、今後も増加が予想される海外旅行客の受け入れに不可欠な「モバイル決済」「多言語」などの製品やサービスを「インバウンド対応ゾーン」で紹介します。

開催期間中は展示の他に、業界で話題の講演者が価値ある情報を提供するセミナーやカンファレンスも多数開催します。また、28日の開場前(9:10～)オープニングセレモニーを実施します。

つきましては、本展のご取材をたまわりますよう、ご検討よろしく申し上げます。

【お問い合わせ先】 北海道アグリ・フードプロジェクト／観光・ホテル・外食産業展事務局(担当:田中)

一般社団法人日本能率協会 KAIKa 研究所内 TEL: 03-3434-0380

〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22

※ご取材のお問合せは、広報室（TEL：03-3434-8620、担当：川村）へお願いいたします。

◆注目の出展者

「北海道アグリ・フードプロジェクト イベント&カンファレンス 2018」

▼次世代農業技術「スマートアグリゾーン」

「スマートアグリゾーン」には 19 社が出展。特に、「ファームノート」「アグリセンシング」「東京ドローンプラス」の 3 社は、スマートアグリによる「Society5.0」構想や、内閣府 SIP「次世代農林水産業創造技術」の取り組みが描く“関連産業の市場規模拡大”と“グローバル競争に勝てる強い農業”の実現に寄与する技術を紹介しします。

大規模経営体の急増（100ha 以上が 2010～2015 年間で 30%増加。出典：農林水産省「農林業センサス」）や、農業のスマート化や育種等の技術が急速に進展しており、農業構造の改革の好機と捉える向きもあります。特に農業生産の盛んな北海道の場合、1 人の生産者が管理する農場が他府県に比べ大きいと、早い時期から次世代技術を積極的に取り入れる従事者が多い傾向にあります。



クラウド牛群管理システム「Farmnote」

発売から 3 年半で約 25 万頭の牛、 2,500 の生産者が利用

ファームノート(ブース：ス-11)は、クラウド牛群管理システム「Farmnote」や、牛の疾病・発情兆候を検知する「Farmnote Color」など、生産者の収益と生産性向上を目的に、主に酪農・畜産向けに IoT・人工知能を活用した製品・サービスを案内する。



コストをかけない農業用のセンサー利用で 作業の軽減化をめざす

アグリセンシング (ブース：ス-21)は、水田・畑・施設園芸等の栽培環境の見廻り作業の軽減化をめざした各種システムを展示する。長距離無線通信「LoRaWAN」利用で通信コストを抑えるなど、より安価な機器や技術で生産者をサポートする。



農業に革新を。 農薬散布に特化したドローン


東京ドローンプラス (ブース：ス-23)は、従来の農薬散布における高コスト・重労働という課題を解決する低価格で高機能なドローンを扱う。5L タイプ、10L タイプの他、業界最大サイズ 15L タイプを展示する。

「観光・ホテル・外食産業展 HOKKAIDO」

▼インバウンドサービス「インバウンド対応ゾーン」

「インバウンド対応ゾーン」には、8社が出展。なかでも「ペイパル」「ニッセンレンエスコートノトッパン・フォームズ」「ビジコム」は、インバウンドを受け入れる側の課題とされている「決済」や「言語」の問題を解決する技術やサービスを提供します。

2017年の訪日外国人旅行者は2,869万人（出典：2018年、日本政府観光局リリースより）と過去最高となり、多くの国々から、多様な旅行者が訪れる北海道でも、その受け入れ体制を整えておく必要に迫られています。



米シリコンバレー発！200以上の国と地域で 決済が可能なプラットフォーム

デジタル決済のイノベーション企業、ペイパル(ブース：イ-11)は、インバウンド向けページでの決済手段の導入や、不正クレジットカードのリスク、突然のキャンセル対応などに悩む事業者向けにお勧めするオープンデジタル決済プラットフォームを紹介する。

多言語コンタクトセンターサービス

通訳が必要な外国人のお客さまに対して、低コストかつ手軽に始められることができる電話通訳サービスです。
電話通訳以外にもメール・発信通訳・SNS・チャット・VOC(お客様の声)分析など、ニーズに合わせてさまざまなチャネルに柔軟に対応します。

POINT 1

24時間365日対応

24時間365日対応の他、夜間や休日のみのご依頼も承ります

POINT 2

高いサービス品質

多言語はもちろん、高水準の日本語対応で安心してご利用いただけます

日本語能力試験1級取得率 **95%**

POINT 3

13言語に対応


13言語を標準でご用意幅広いニーズにお応えします

対応言語

● 英語	● タイ語	● ヒンディー語
● 中国語	● インドネシア語	● スペイン語
● 韓国語	● ロシア語	● フランス語
● 日本語	● 多言語対応	
● スウェーデン語	● ポルトガル語	

「決済」「集客」「お客様対応」で 店頭を豊かにするサービス

ニッセンレンエスコートノトッパン・フォームズ(ブース：イ-01)は、「アリペイ」アプリを活用した集客サービスや、訪日外国人旅行者とのコミュニケーションをお助けする「多言語コンタクトセンターサービス」など、多様化する店頭での課題を解決する各種ソリューションを提案する。



ホテル・旅館向けのインバウンドシステムを 展示とセミナーで紹介

ビジコム(ブース：イ-21)のブースでは、免税販売対応のPOSレジ「BCPOS」や免税書類作成システム「あっと免税」、外国人宿泊客のパスポートをスキャンするだけでデータ保存する「あっとパスポート」が体験できる。11/29(木)14:00~14:40には出展者セミナーも開催。

パスポートデータ保存システム「あっとパスポート」

◆注目の講演・セミナー ※敬称略



【基調講演：11月28日(水) 14:30~15:30】

北海道出身の有名シェフが愛する地元食材の魅力を語る

「北海道の食の魅力」

オテル・ドゥ・ミクニ オーナーシェフ
三國清三

【主催者セミナー：11月28日(水) 10:00~11:00】

テレビ出演など多数。スマートアグリ分野の第一人者

「SIP『次世代農林水産業創造技術』の取り組み

—アグリイノベーション創出—」

北海道大学大学院農学研究院 副研究院長・教授 農学博士
野口 伸



【主催者セミナー：11月29日(木) 10:00~11:00】

北海道インバウンド観光の起爆剤“アドベンチャートラベル”とは？

「北海道インバウンド観光の可能性」

国土交通省 北海道運輸局 観光部 観光企画課 課長
実重貴之

◆オープニングセレモニー

日時：2018年11月28日(水) 9:10~9:25

場所：アクセスサッポロ 展示会場入り口前

セレモニー内容：主催代表挨拶、関係先代表者列席によるテープカット

◆開催概要

<http://www.jma.or.jp/hafp/>

<http://www.jma.or.jp/hafp/tourismhotel/>

展示会名：「北海道アグリ・フードプロジェクト イベント&カンファレンス 2018」

「観光・ホテル・外食産業展 HOKKAIDO」

開催期間：2018年11月28日(水)~29日(木) 9:30~16:00

会場：アクセスサッポロ (札幌市白石区流通センター4-3-55)

主催：一般社団法人日本能率協会

企画主体：北海道アグリ・フードプロジェクト実行委員会

(JAグループ北海道、北海道大学、北海道商工会議所連合会 ほか)

出展規模：137社/178ブース (2展合計、2018年11月20日現在)

来場者数：10,000名 (2展合計、予定)

